

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大東市新田西町物流センター	階数	地上4階
建設地	大東市新田西町103番1	構造	S造
用途地域	準工業地域 22条指定	平均居住人員	771 人
地域区分	5地域	年間使用時間	24 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2015年4月8日
敷地面積	7,218 m ²	作成者	(株)熊谷組 宮原
建築面積	3,658 m ²	確認日	2015年4月10日
延床面積	14,577 m ²	確認者	(株)熊谷組 服部



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 適切な建物性能と適切な建設費でコストパフォーマンスの高い建物とする。		その他 特に無し
Q1 室内環境 内装および下地の建材はF☆☆☆☆以上のものを使用する。 倉庫の換気設備の給気口はトラックが走行する側を避けて配置する。	Q2 サービス性能 階高を事務所部分も含め充分にとっており、執務室の天井高さは2.7mを確保している。 スパンが大きく、天井裏のスペースも大きいので配管配線の更新や取り直し、間取りの細かな変更に対応可能として	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には大阪府条例を満たす程度の緑地を設けているが、周辺景観へ配慮し、隣地および道路側に樹木を多く植えるような配置計画としている。
LR1 エネルギー 屋根ダブル折板、外壁はALC及び金属断熱パネルで適切な断熱を設定、全館LED照明および高効率空調機の採用により省エネルギー性に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 解体時におけるリサイクルを促進できるよう、躯体と仕上げ材、設備の分離が容易な構造としている。	LR3 敷地外環境 敷地外への光害対策として、「光害対策ガイドライン」「広告物照明の扱い」配慮事項の過半を満たしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0137

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)大東市新田西町物流センター計画新築工事					
	建設地	大東市新田西町103番1					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.0	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		4.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.5			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項		特に無し					